

和歌山県西牟婁郡上富田町

笑顔が広がる美しい里づくり



【地域の基礎データ】

人 口：15,600 人（平成 31 年 1 月末現在）

面 積：57.49 平方キロメートル

高齢化率：23.9%（平成 27 年 1 月 1 日現在）

産 業：農業（ウメ・みかん）、製造業 など

観光資源：救馬溪観音、興禅寺（だるま寺） など

【活動の基本情報】

参加学生数：4 名（1 回生：4 名）

活動期間：平成 29 年 5 月～

担当教員：大浦由美

1. 活動実施の経緯

市ノ瀬地区は富田川左岸に位置する緩やかな丘陵地で、地区内には上富田町唯一の棚田が存在する風光明媚な地域である。しかしながら農業の担い手は高齢者が多く、耕作放棄地も一部にみられるようになり、今後の農地の維持継承が課題となっている。その一方で、非農家世帯も増加しており、いわゆる「混住化」が進んでいる地域でもある。

当地区では 2016 年秋に地域住民による地域づくりワークショップを実施し、地域の活性化に向けたアイデアを取りまとめる

ことになった。このワークショップに観光学部 2 回生 3 名が参加したことをきっかけに、2017 年から LIP として当地区の地域づくり活動に参加することになった。1 年目は「地域資源を活用した”おどろきと感動”の地域づくり」をテーマに、「ヒマワリと菜の花が咲きほこるまち」「アサギマダラが飛翔するまち」「市ノ瀬ゴマせんべいづくり」の 3 つの活動を支援した。2 年目はこれらの活動を発展させるべく「笑顔が広がる美しい里づくり」をテーマに継続して活動を行った。



2. 活動の内容と成果

(1) ヒマワリと菜の花が咲きほこるまち

今年度は台風や天候不順に見舞われ、ヒマワリ等が十分に生育しなかったため、イベント開催は見送られた。

(2) アサギマダラが飛翔するまち

興善寺下の休耕地にフジバカマを地植えしたところ、10月に100頭以上のアサギマダラが飛来した。地域のメディアにも取り上げられたことで、地区外から多くの人が鑑賞に訪れるなど、地域活性化に向けて手応えを得ることができた。

(3) 市ノ瀬ごませんべいづくり

LIPの活動としては、ゴマせんべいの試作品づくりと試食、ネーミング、パッケージやロゴのデザイン、PR用ポスターの作成などを手がけた。試作品は地区の祭りで販売された。

(4) 市ノ瀬地区の農業に関する住民意識調査

市ノ瀬地区全世帯（576世帯）を対象に、農業や地域活動、農家非農家間交流に対する住民調査を実施した。回収率は2割程度に留まったが、農家・非農家が共通して農村景観に魅力を感じており、非農家でも農地保全や交流に前向きであることから、当地における交流を通じた農地保全活動の展開可能性を示すことができた。

